

施設紹介

鳶巣地区の公共施設、福祉施設、体育施設を紹介します。これらの施設は、住民の学習活動や交流の拠点であるとともに、未来を担う子ども・若者の学びの拠点でもあります。

9 鳶巣コミュニティセンター

昭和28年、出雲市公民館鳶巣分館として開設。鳶ヶ巣公民館、鳶巣公民館、鳶巣コミュニティセンターへの改称とともに、所在地も現門前谷遊園地、鳶巣小学校跡地を経て、平成20年に現在地に移転・新築（アリーナを併設）。

地域住民の生涯学習、文化・スポーツ活動、交流等の中心的拠点施設。



10 しっかりとつるつる北山温泉

平成11年に市営温泉施設として開館。平成28年に民営化されリニューアルオープン。出雲神話に登場する北山山系の雄大な景色を見渡せ、肌がしっかりとつるするアルカリ性単純温泉。露天風呂、ジェットバス等、湯のバリエーションが豊富で、のんびりゆったりできる日帰り温泉施設。



11 すぱーく出雲

平成9年に西林木町の北山温泉隣に開設された屋根付きスポーツ・レクリエーション施設（ゲートボール、テニス等）。市内外を問わず交流や生涯スポーツ、コミュニティ活動等の場として、多くの人に活用されている施設。



12 島根県立大学出雲キャンパス

平成7年4月に島根県立看護短期大学として西林木町に開学。平成19年に島根県立大学出雲キャンパスに改称。平成24年に4年制に移行し、30年には松江キャンパスから健康栄養学科が編入し、看護栄養部に再編。家庭訪問や地域実習をはじめ、災害対策や空き家プロジェクト等、地域との連携も深い。



13 出雲北陵中学・高等学校

昭和59年4月に市内今市町から現在地へ移転・新築された普通科（特別進学、普通、音楽、美術コース）の男女共学校。平成8年に中学校を開設。吹奏楽部、合唱部、なぎなた部、卓球部等が全国大会で活躍。吹奏楽部や合唱部は、夏・秋の鳶巣祭りに出演する等、地域との連携も深い。



14 鳶巣幼稚園

昭和37年に地区の熱意と要望により、鳶巣地区奨学会が鳶巣小学校の施設内に開設。翌年、市へ移管され出雲市立鳶巣幼稚園に改称。

平成19年4月に現在地に移転・新築。平成23年から預かり保育を開始。お作法教室等で地域と交流。



15 出雲市新体育館

令和6年春に島根県立大学出雲キャンパス東側に開館する予定の新しい出雲市体育館。市民の健康づくりや屋内生涯スポーツの推進等、市民のニーズに対応した拠点となることが期待されている。（右はイメージ図）



歴史と文化を育むまち

鳶巣

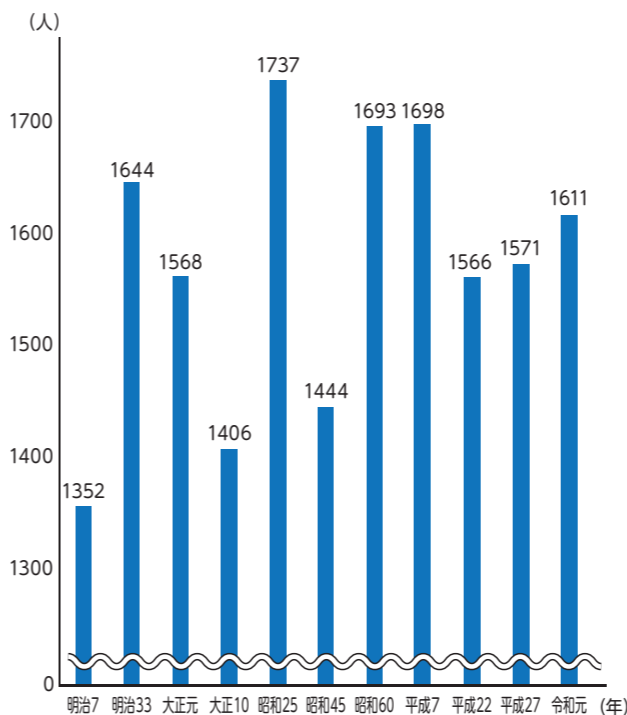
— TOBISU —



鳶巣幼稚園(手前左)、鳶巣コミュニティセンター(中右)と鳶ヶ巣山(奥)

鳶巣地区の概要

- ①面積 7.75km² (東西約2.6km、南北約2.4km)
- ②人口 1607人 世帯数531世帯(令和3年5月末)
- ③人口の推移



鳶巣地区の歴史年表

| 時代 | 年 | 出来事 |
|------|-----------|---|
| 弥生時代 | 紀元前200年頃 | 四隅突出型墳丘墓築造(青木遺跡出土) 掘立柱建物、弥生土器(山持遺跡出土) |
| | 300~400年頃 | 大寺古墳築造 |
| 飛鳥時代 | 594年 | 智春上人が大寺薬師を創建(伝承) |
| | 652年 | 都我利神社創建 |
| 平安時代 | 701年 | 伊努神社創建(出雲国風土記記載) |
| | 900年頃 | 大寺薬師仏像九体彫像(国重要文化財) |
| 室町時代 | 1509年 | 宍道氏が鳶ヶ巣山に鳶ヶ巣城を築城(1600年閉城) |
| | 1635年 | 京極氏が斐伊川堤防(若狭土手)着工 |
| 江戸時代 | 1648年 | 「慶安の大山抜け」と言われる災害により大寺薬師流出 「慶安の大山抜け」により湯屋谷川東流、立替し現在の流れになる |
| | 1774年頃 | 大洪水を契機に、伊努谷川を立替し現在の流れになる |
| 明治時代 | 1873年 | 東林木小学校開校 翌年、西林木小学校開校 |
| | 1889年 | 東林木村と西林木村が合併し、楯縫郡鳶巣村となる |
| 大正時代 | 1914年 | 一畑軽便鉄道出雲~平田間開通(浜組町内に鳶ヶ巣停留所開設) |
| | 1941年 | 今市町外8村合併に加わり出雲町となる(2月) 出雲市となる(11月) |
| 昭和時代 | 1962年 | 鳶巣幼稚園開園(鳶巣奨学会で設立。翌年、市立移管) |
| | 1966年 | 土地改良事業完了 |
| 平成時代 | 1977年 | 鳶巣小学校閉校(川跡小学校と統合し、北陽小学校開校) |
| | 1984年 | 出雲北陵高等学校開校(現出雲北陵中学・高等学校) |
| 令和時代 | 1995年 | 島根県立看護短期大学開学(現島根県立大学出雲キャンパス) |
| | 1998年 | 農業集落排水事業(下水道整備)完工 |
| 令和時代 | 2013年 | 国道431号東林木バイパス副道開通 |
| | 2024年 | 出雲市新体育館開館予定 |

発行：鳶巣地区自治協会(令和3年10月)

お問合せ：鳶巣コミュニティセンター ☎ 0853-21-0174

史跡等の紹介

鳶巣は、出雲神話「国引き」時代から北山手で最も早く開けた地と言われています。

それ故に多くの遺跡や古墳、大寺薬師の仏像、鳶ヶ巣城跡など貴重な史跡や文化財が、保存継承されているまちです。



弥生時代の出雲地域（出雲弥生の森博物館提供）

① 山持遺跡

斐伊川の流によって形成された自然堤防の上であり、その範囲は南北約0.5km、東西約2kmに広がっていると考えられている。

発掘調査では、縄文時代から江戸時代までの遺構や遺物が発見されており、縄文時代以来、人々の暮らしの場として開発され、様々な形で利用されてきた様子がうかがえる。



② 青木遺跡

平成11年、国道431号東林木バイパス工事に伴い発見された三層の遺構面を持つ遺跡である。

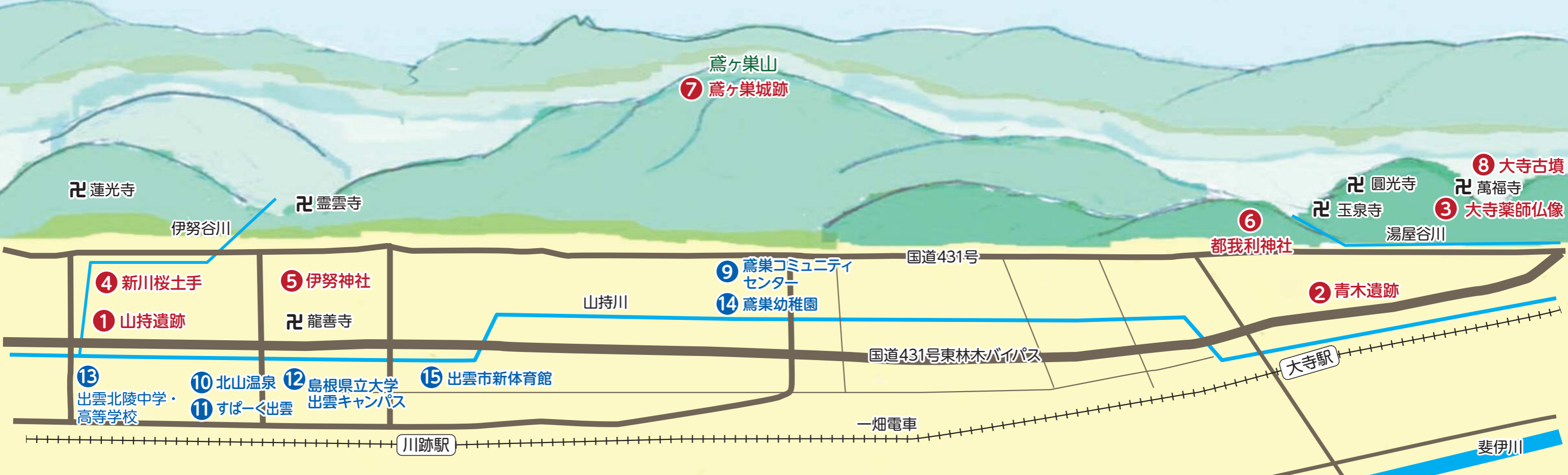
弥生時代の層からは、四隅突出型墳丘墓等、多様なスタイルの墓を始め、銅鐸の破片などが見つかった。また、奈良・平安時代の層からは、神社跡と思われる掘立柱建物跡や木彫りの神像、絵馬などが見つかった。



③ 大寺薬師仏像

大寺薬師は、現在地から北へ約300mの通称「広瀬」に、594年に開かれたとされる古寺である。1648年の山崩れによって、伽藍・仏像等が埋没・破壊されたが、地元住民が仏像を掘り出し、萬福寺境内に薬師堂を再建し収蔵したと伝えられている。

現在収蔵庫には、薬師如来像など、国の重要文化財に指定されている9体の仏像が安置されており、地区で組織する大寺薬師奉賛会が管理している。



④ 新川桜土手

伊努谷川の両岸、約300mに植えられた約270本の桜並木。昭和34年に山崎武一郎氏が、近隣住民に呼びかけ、約30本の桜の苗木を植えたのが始まり。

出雲市の「ふるさと市民賞」や「出雲市文化賞」などを受賞している。

現在は、鳶巣観桜会が管理し、毎年桜まつりも開催している。



⑤ 伊努神社

出雲国風土記や延喜式に載る古社で、古きは伊努郷の郷社であったと言われている。交通の要地に鎮座するこの神社の御祭神は、赤衾伊努意保須美比古佐和気能命（あかふすまいぬおうすみひこさわけのみこと）という穀霊の神である。

例大祭は、4月29日に行われる。



⑥ 都我利神社

延喜式に記載のある古社で、祭神は農耕の神、味耜高彥根神（あじすきたかひこねのみこと）である。11月3日の例大祭には、御神体の渡御行列や子供神輿の練り歩きを見ることができる。

境内からは、眼下に広がる田畑や雄大な斐伊川の流を眺望することができる。



⑦ 鳶ヶ巣城跡

市内最大規模の中世山砦城遺構である。1509年、穴道久慶が築城したとされ、その後、毛利元就や穴道政慶が改修・改築したと伝えられている。1600年の関ヶ原の戦いで、所領としていた毛利氏が敗れたことから廃城となった。鳶ヶ巣山頂から麓にかけて、10の郭や土塁などの遺構が見られる。

また山頂からは、東は大山・穴道湖、西は三瓶山・日本海、南は出雲平野の中央を斐伊川が流れる素晴らしい眺めが望める。



⑧ 大寺古墳

萬福寺の裏山、標高30mの丘陵に造られた出雲地方最古の前方後円墳（1号墳）。全長52m、後円部中央部には竪穴式石室があり、鉄製のクワ先と鉄オノが発見されている。前方部からは碧玉製の勾玉が出土している。

また、隣接して築造されている2号墳は、破壊され墳形は分からないが石棺式石室が残っている。

